

デンファレ
Dendrobium phalaenopsis
 (ラン科)

デンドロビウム・ファレノプシスを略してデンファレで流通。ほとんどがタイからの輸入で、国産は沖縄で少量の生産があるだけ。1年中いつでも入荷があり、仏花にはなくてはならない切り花。切り口にウォーターピッケルをつけて輸送。入荷時に咲いている花は長もちするが、つぼみはすぐに変色して落下する。

よく似たトロピカルな花にモカラ(Mokara)、アランダ(Aranda)、アランセラ(Aranthera)がある。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
つぼみの変色・落下	A: 変色・落下がない B: 変色したつぼみがある C: 落下が始まる D: 入手時に開花していた小花が変色あるいは落下	すべてのつぼみが落下してもC.
小花の老化	A: 触ると硬く、花弁に萎れが認められない C: 触るとやや軟らかく、花弁の周辺部が内側に巻き、わずかに萎れが認められる、あるいは花弁の一部が萎れる D: 全小花が萎れる	開花している花弁の一部がすこしでも内側に巻き、萎れたらCと判定する。
その他		

2) 留意点

花茎の上部につく小さなつぼみは変色し、落下するので開花しない。

小花が萎れる前につぼみの落下が始まっている(C)ので、すこしでも花弁に老化が認められた時点(C)で日持ちは終了する。

花茎の下部につく大きなつぼみは開花するがすぐに花弁が萎れ、落下する。

入手時に開花していた小花の老化を指標として日持ちを判定する。

入荷時に開花している小花は花弁が厚く、日持ちが長い。

輸送中に花弁に傷がつくと、変色し萎れる。

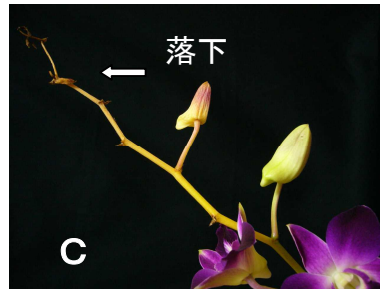
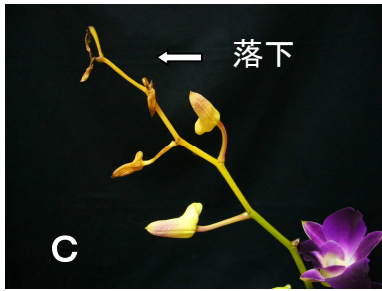
生け花時に水につかる茎が腐りやすい。

3) 開花



4) チェック事項

つぼみの変色・落下



小花の老化

